

令和3年5月25日

所 属	尼崎双星高等学校
担当者	藤井 晴基
電 話	06-6491-7000

## 尼崎双星高校の情報技術部が市長を表敬訪問 ロボカップジュニア世界大会(オンライン)に日本代表として出場します

尼崎双星高校の情報技術部の3人チーム「双救」(そうきゅう)が、最先端のロボット技術を競う19歳以下の「ロボカップジュニア 2021」のレスキュー部門で、全国優勝しました。「双救」は6月22日からフランスで開催される世界大会(オンライン)に日本代表として出場します。その出場報告のため、市長をつぎのとおり表敬訪問します。



ロボカップジュニアで優勝した「双救」の3名

### 1 表敬訪問詳細

- ・日 時 5月28日(金) 午後4時30分～5時
- ・場 所 尼崎市役所本庁舎南館2階 市長室
- ・訪問者 生徒3名、校長1名、顧問1名 計5名

### 2 尼崎双星高校情報技術部

3年生3名、2年生5名、1年生1名の合計9名で活動しています。クラブ活動は、顧問の藤井晴基先生の指導のもと、3Dプリンターを用いたオリジナルロボットの製作や、プログラミングを中心におこなっており、ものづくりを通して「考える力」「工夫する力」「集中力」などを高めることを目標にしています。これまでに、2014年ロボカップ世界大会(ブラジル)でサッカー部門特別賞受賞、2019年RCAPロシア大会(モスクワ)では合同チームで参加し、レスキュー部門優勝の実績があります。

### 3 ロボカップジュニア

「ロボカップ」は1992年に日本で発足し、ロボットチームが対戦する「サッカー」や、災害時の救助活動を想定した「レスキュー」などの種目があります。1997年には愛知県で初の世界大会がおこなわれ、今は約40カ国で開かれています。ロボカップは、ロボットと人工知能の新しい標準問題として「2050年、人型ロボットでワールドカップ・チャンピオンに勝つ」ことを設定し、その研究過程で生まれる科学技術を世界に還元することを目標としている国際的ロボット競技大会です。

※現時点では2021年ロボカップ世界大会(フランス大会)の参加チーム数等は不明。大会の詳細は6月上旬にロボカップジャパン公式HPで発表予定。